

わ く わ く

3月号

本 だ な

1 2 3 年



えほん

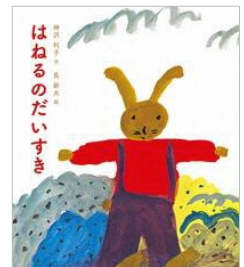


E 『くらやみきんしの^{くに}国』 エミリー・ハワース=ブース／さく
 おおつかのりこ／やく あかね書房
 あるところに、くらやみがこわい王^{おう}さまがいました。王さまは、くらやみをきんしにします。そして、大きな人工^{おおじんこう}のたいようをつくって、夜^{よる}が来^こないようにしました。
 ところが、みんなねむれなくなり、こまってしまいます。

K913 『はねるのだいすき』

神沢利子／文 長新太／絵 絵本塾出版
 はる^{はる}のほら^{のほら} 春の野原。うさぎのピコは、とんぼがえりしてくるくるまわって
 いました。すると、ひるねをじゃまされたきつねのコンが、おこって
 言いました。「とんぼがえりは、きつねの発^{はつめい}明だから、うさぎがまねし
 ちゃいかん！」

ものがたり



K913 『ゴッディくん』

古川タク／作 理論社
 かみさまの子^こどもゴッディくんは、いたずらっ子。さんぽに出かけては、星^{ほし}をもつてかえります。お気に入り^{おきいり}の星は、地球^{ちきゅう}です。
 ゴッディくんは、おもちゃみたいに地球をペタンコにしたり、しかくにしたり。地球^{ちきゅう}にすむ^{ひと}人は、そのたびにたいへんです。

ものがたり



E 『青^{あお}い羽^{はね}みつけた！ さがしてみよう身近^{みぢか}な鳥^{とり}たち』

Noovo Inc.／著 富樫一望／作と絵 宇田英男／文
 日本野鳥の会／監修 パイインターナショナル
 がっこう^{がっこう}の帰り^{かえ}道^{みち}、見たことのないきれいな青い羽^みを見つめました。
 羽^もの持ち主^{しゅ}をさがしに出^{しゅつぱつ}発^{ぱつ}！
 木^きのえだや、ひくい^なやぶの中^{なか}、池^{いけ}や川^{かわ}など、鳥^{めせん}の目線^{めせん}になってよく見てみよう。鳥^みがかくれているよ。

ちしきのほん



わ

く

わ

く

3月号



本だな

4

5

6

年



K913 『泣き神さまサワメ』

横山充男／作 よこやまようへい／画 文研出版
泣きむしのそうたは、強くなりたくて神社にお願いに行きました。神社にはサワメというへんてこりんな神さまがいて、泣く練習をしていました。

サワメは、「あしたから、わしに泣き方を教えるのじゃ。」と言って、そうたにとりついてしまいました。そうたが泣くたびに、サワメが話しかけてきます。

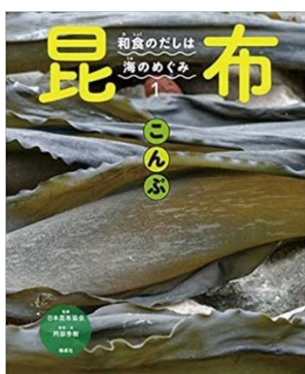
物語

K933 『夜の妖精フローリー』

ローラ・エイミー・シュリッツ／作 日当陽子／訳
さとうゆうすけ／絵 学研プラス
フローリーは、生まれたばかりの夜の妖精です。春の夜に、じまんのつばさをコウモリにかじられ、巨人の庭に落ちて気絶してしまいました。

目をさますと、ドキドキするほど美しい昼間の世界が広がっています。フローリーは、昼の妖精になることに決めました。

物語



K667 『和食のだしは海のみぐみ1 昆布』

阿部秀樹／写真・文 日本昆布協会／監修 偕成社
おにぎりにまぶしたり、さしみをはさんだり、富山の食卓にかかせないコンブ。コンブは、北の冷たい海で育つとても長い海藻です。漁師さんが海から採ってきたコンブを海岸で干すと、太陽の光をうけてコンブはおいしくなります。

北海道で採れたコンブがお店にとどくまでの流れや、全国のコンブ料理がしょうかいされています。

ちしきの本

図書館のまどぐちには、くみたとると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200